

高取山山頂からの眺望



年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は町政70周年として、町民皆さんに様々な形で還元をさせていただきながら、多くの記念事業を執り行い、皆でこぞつてお祝いができましたこと、大変に嬉しく存じております。また、戦後80年・昭和100年とも重なり、様々な取り組みを通して、大変に意義のある一年になったものと感じております。

迎えた本年は、これまで培ってきた歴史と活力をエネルギーに変え、本町の新たな時代の第一歩となるよう、未来に向けたまちづくりに引き続き全力で取り組んでまいります。

経済の先行きに不透明感が続いておりますが、国による物価高対策として、18歳以下のお子さんには一人あたり2万円の給付が行われますので、本町では国の地方創生臨時交付金を活用し、一世帯あたり7千円に加え、19歳以上の皆さんに一人あたり3千円を加算する「愛川くらし応援券」を、3月から全世帯に配布してまいります。

また、半原水源跡地を活用した「観光・産業連携拠点づくり事業」については、昨年、神奈川トヨタ自動車さんと「基本協定」を締結し、現在、施設計画の全体構想が出来つつありますので、引き続き早期着工を目指して、官民連携の中で、前に進めてまいります。

誰もが幸せを実感し、安心して過ごせる根っ子は「平和」であります。町民皆さんの穏やかで安定した暮らしのために、粉骨碎身の思いで努力を続けてまいります。争いのない安寧な世の中を希い、世界の人々が笑顔で暮らせることを心から念願し、新年のごあいさついたします。

令和八年元旦

愛川町長 小野澤 豊

